

おわりに

歴史を振り返ってみると、その時々生まれてくる必然性が見えてくる。人が経済活動を始めると一滴の水が集合し、川の流れとなって流れ始める。しかし、伝染病などの事件や交通機関などの科学技術の進展などにより、今までされてきたことが一瞬のうちに変化することがある。経済活動とはそういうものらしい。「近江牛の歴史」を遡っても、同じようなことが言える。

本解説書は「近江牛の歴史」を垣間見ながら、その時々生活環境や経済活動などを含めたものとして構成したつもりであるが、その観点で記載したとするには書き落としているものが多かろうと思う。今回は解説書としたことから、過去に残された文献等の資料を中心に紹介するものとなった。

今後、多くの方々の協力を得ながら、編集することになっている。